

露点検出器 ND-CH



10倍スコープにより結露状態の目視確認がラクラク! ドライアイス不要で扱いやすい、進化したデューカップ

シンプルな構造と原理から、露点検出の基本となった結露式デューカップですが、ドライアイスを用いる扱いの煩雑さや結露状態の見極めに個人差が大きいなどの欠点があり、現在では人手することすら困難な状態です。

そこで、私たちは**ペルチェ素子**を採用した新しいデューカップを提案します。

特長

- **電子冷却素子を用いた冷却方式**
ペルチェ素子を用いて冷却するので、ドライアイスやアルコールが不要
- **冷却速度は3段階切り替え可能**
測定露点に適した冷却速度を選択できるので、過冷却による測定ミスを防止
- **スコープにより結露状態の見極めが容易**
倍率10倍のスコープで結露状態を確認するので、見極めが容易で個人差が少ない
- **PT100Ω測温抵抗体を採用した温度測定**
ミラーに密着した温度センサーが正確に温度を測定
- **測定値をホールド表示**
結露状態を確認した時点の温度をホールド表示するので確認が簡単



NAGANO

露点検出器

ND-CH

放熱フィンの上にマウントされたペルチェ素子と、PT100Ω温度センサー・反射板・光源・サンプリングポットが測定のコア部分です。

サンプリングポットには、倍率10倍のスコープがマウントされ、反射板の状態を確認できます。

測定の流れ

- 1 サンプリングポットに測定ガスを流し、内部をパージして測定開始。
- 2 冷却スイッチを押すと、押し続けている間ペルチェ素子が反射板を冷却します。
冷却スピードはダイヤル設定で3段階に調節可能。測定露点に応じて適切な速度に切り替えてご使用ください。
- 3 スコープを覗いて結露状態を監視し、反射板に結露し始めた時点で冷却スイッチを離すとその時点の温度がモニターにホールド表示されます。その温度が測定ガス露点となります。

露点検出器仕様

型 式	ND-CH
電 源 電 圧	AC100V
測 定 原 理	ミラー冷却(目視)方式、スポット測定
温 度 測 定	PT100Ω class A
冷 却 能 力	-30℃(環境温度20℃において) ※使用環境・状態による。水素、ヘリウムガス等は冷却能力が低下します。
使 用 流 量	約1L/min程度
使 用 圧 力	大気圧+α(出口大気開放で流量が確保できる程度)
測 定 時 間	10~60秒(測定露点により異なる)
配 管 接 続	Rc 1/8(標準:[IN]φ6.35 Swagelok社製チューブ継手、[OUT]φ6.35 Swagelok社製ストレート)
寸 法	約165W×265H×200D(mm)
重 量	約2Kg

取扱代理店

NAGANO 永野電機産業株式会社

大阪本社 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町4-23-25

TEL.06-6335-5540 FAX.06-6335-5545

東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4-29-13 日進ビル8F

TEL.03-5817-4158 FAX.03-5817-4159

メール: info@dp-nagano.co.jp URL: https://www.dp-nagano.co.jp/

※仕様、その他記載内容は、予告無しに変更する場合がありますので予めご了承ください。